



多様な人々と力を合わせ、
世界に誇れる美しい
街づくりをめざします。



イケ・サンパーク これまで・これから

活動時期 2017年4月～現在

活動場所 としまみどりの防災公園 愛称:イケ・サンパーク (東京都豊島区東池袋)

豊島区/URの公募による、国内2例目、都内で初となるP-PFI制度適用の、都市公園の設計・施工・管理運営事業者を選ばれ、統括管理や造園工事、公園/地域ブランディングの取り組みを経て、2020年7月に一部オープンしました。池袋周辺の公園を核としたまちづくりの一翼を担い地域に愛される公園を目指し、また公園での新たな収益事業、官民連携のあり方を模索し、スタートアップ支援施設(KOTO-PORT)やファーマーズマーケットの準備を進めています。

活動の目的

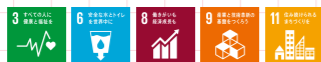
官民連携の新たな手法であるP-PFI制度の活用可能性を探るとともに、近年PPP事業に様々な業種の事業者が応募する中、当該分野の第一人者として、チャレンジを続けたいと考えました。また、設計段階から管理運営段階までを通して事業にかかわり、公園ブランディングのあり方の方向性を示したいと考えました。

取り組み成果

P-PFI制度に基づく公募で選定された公園事業者として、世の中から注目される機会を得ることになりました。豊島区をはじめとして、関連する多くの事業者や専門家、地域の方々などと情報交換、意見交換をする機会も増え、今後は視察などを通じてその機会が増えるものと考えます。

今後の目標・課題

カフェやファーマーズマーケットの営業開始にあわせてグランドオープン(12月12日)、公園の姿が一度完成します。今後はこの事業で得た経験や人脈をいかし、次の事業の実行につなげていきたいと思えます。課題としては、本事業を通じ担当者の得たノウハウを、会社としてどのような方法で活用していくかになります。



1



2



3



4



5



- 1 大塚駅側上空からの様子。写真左手に本道密集地域からの延焼防止を目的とする防火樹林帯(シラカン)を植栽。
- 2 建築は軒下の空間を広く取ることで、屋内・屋外空間の連続した活用を強く意識している。
- 3 カフェ内部からの様子。視界いっぱいには青々とした芝生が広がる。
- 4 写真左上大塚駅側から右下東池袋駅側に真っ直ぐ伸びる、白いシンボルラインが特徴。
- 5 広大な芝生広場は災害時活動拠点となるため、周辺の園路に照明を配置し照度を確保している。
- 6 イチョウ並木のライトアップの様子。今後、並木の間を豊島区が運営する真っ赤なIKE・BUSが走行予定です。



1



2



3

- 1 公園内には、公民館・市民ホールをはじめ、図書館、体育館、野球場、パークゴルフ場、多目的広場、児童遊園があります。
- 2 公園のシンボル樹であるポプラツリー作りや、既存樹を活かしたクイズラリー、花や苗の植木市を行いました。
- 3 3か所のボランティア花壇では、それぞれコンセプトを持たせて、市民の方々と共に植えました。

新しいまちをつくる プラッツ習志野 オープニングフェスティバル

活動時期 2019年11月2日～11月3日

活動場所 千葉県習志野市本大久保・中央公園

習志野市による大久保駅前周辺地区におけるまちづくりの一環として、約4haの公園内に、既存の公共施設を一体的に再生する公共施設再生事業(PFI)です。事業者は、スタートアップを代表とした習志野大久保未来プロジェクト(株)で、わたしたちは協力企業として公園に係る設計・建設・維持管理(20年間)を担いました。完成にあたり、記念式典と2日間におよぶオープニングイベントが盛大に開催されました。

活動の目的

市民のための生涯学習の拠点として、生まれ変わった公共施設の開業を記念して開催されました。市民の皆様が新しい施設に親しんでいただくことを目的とし、敷地全体を活用したイベントとなっています。

取り組み成果

イベントの内容は、大久保みどりのクイズラリーや、ポプラのシンボルツリー作り、3箇所の花壇作り、花苗や切り花による植木市の開催、さらには地元町会の方々による桜の記念植樹の開催を企画しました。天候にも恵まれ、多くの市民との交流と習志野市、事業者がひとつとなり、新しいまちづくりへの一環を果たせました。

今後の目標・課題

中央公園には、既存の樹木が多く残されています。市民のご要望を第一に、公園内での色々な課題を一つずつ解決し、手入れの行き届いた芝生管理をはじめ、花壇ボランティアの募集など、新しい中央公園からまちづくりを発信していく想いで、よりよい公園の運営や維持管理に役立てていきます。



1



2

3

- 1 自然体験教室にて公園の畑にサツマイモを植えている様子。
- 2 芝生の上でのびのびと体を動かします。
- 3 雨が降った日も屋内でスポーツ教室 ※3枚の写真は2019年以前の活動の様子のもので、

太陽の下でのびのび学ぶ サニースクール

活動時期 2016年4月12日～現在継続中

活動場所 相模三川公園(神奈川県海老名市) 戸吹スポーツ公園(東京都八王子市)

サニースクールとは太陽スポーツ施設が指定管理を行っている神奈川県立相模三川公園を舞台に、小学校低学年の子供を対象とした週1回の会員制教室です。放課後に公園に集まり、自然体験とスポーツ教室、室内での学びを行っています。また、同じく指定管理を行っている東京都八王子市立戸吹スポーツ公園でも2018年に第二校目を開校し、隔週1回のスポーツ教室と月1回の自然体験教室を行っています。

活動の目的

近年、子どもが小学校に上がることで、女性が仕事を続けていくことが難しくなる「小1の壁」という社会問題が増加しています。公園を放課後の子どもたちの居場所に出来ないか、という考えからこの事業が始まりました。

取り組み成果

子どもの運動能力の向上や自然への興味関心を深めるだけでなく、異なる学校・学年の友人や大人との交流を通じた協調性や下の年齢の子に対する優しさ等、心の成長にもつながっており、保護者の方々にも評価を頂いています。

今後の目標・課題

新しい生活様式の中、子どもがのびのびと運動できる環境はとても貴重なものになっています。子どもたちにサニースクールを楽しんでもらえるよう、今後も魅力あるプログラム作りと運営に取り組んでいきます。

活動実施会社 太陽スポーツ施設株式会社

